

103-195

問題文

薬物の乳汁移行に関する記述のうち、正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 母乳pHは血漿pHよりも高値であるため、塩基性薬物は母乳中に移行しやすい。
2. 相対的乳児摂取量は、薬物の乳汁中濃度と母体血漿中濃度の比に100を乗じて算出する。
3. 乳汁／血漿中薬物濃度比(M : P比)に影響を及ぼす要因として、薬物の脂溶性、分子量、タンパク結合率、 pK_a がある。
4. プロモクリプチンは、母乳中への移行が多い。
5. 炭酸リチウムは、母乳中へ移行するが、服薬と授乳のタイミングを工夫することで、授乳婦への投与は可能である。

解答

3

解説

選択肢 1 ですが

「乳汁は、血漿より酸性 = pH 低い」です。 よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

相対的乳児摂取量は「乳児の薬物摂取量 (mg/kg/日) ÷ 母親の薬物摂取量 (mg/kg/日) × 100」 のことです。 よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい記述です。

選択肢 4 ですが

プロモクリプチンは母乳中へ移行はしません。 ※乳汁分泌を抑制することが知られており 授乳中の場合、投与を避けます。 ※この肢は プロモクリプチンの副作用の一つである 乳汁漏出症との混同を狙った選択肢と考えられます。 よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

やむを得ず投与する場合は 授乳を中止します。 タイミングの工夫での対応はできません。 よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 3 です。

類題